

通番	日付	場所	当日のご意見及びご質問(要約)	本市の回答(要約)
116	12/11(土)	八木市民センター	「外①(府営岸和田大町住宅跡地)」の施設はどのようになるか。中期以降の計画に記載のある”認定”の意味は何か。	外①(府営岸和田大町住宅跡地)は民間幼保連携型認定こども園を誘致する予定です。定員は150名以上を想定しています。”認定”とは”認定こども園”という意味です。なお場所、規模は未定です。
117	12/11(土)	八木市民センター	認定こども園となったとき教育・保育をきちんと区別できるのか。	国の定める「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」により教育と保育を提供していきたいと考えています。
118	12/11(土)	八木市民センター	先生の研究会等、民営化したときのコントロールはどのようにするか。	市立認定こども園においても、研修等については教育委員会が責任をもって行い、質を維持したいと考えています。誘致する民間園に対しましても、これまで市立園で培ってきた教育を広めていきたいと考えています。
119	12/11(土)	八木市民センター	民間園は経営が成り立たなくなったら急に閉園するという事態が想定される。そのような場合、市は受入児童への対応ができるのか。	急な閉園という事態になれば、岸和田市としては入所調整・市立園での円滑化を利用した受入れにて対応するが、そのような事態にならないように、民間園との日々の連携を大事にまいります。また事業者選定の際には、財務面もしっかりチェックして選定を行います。監査部局との情報共有もしっかり行い、対応してまいります。
120	12/11(土)	八木市民センター	施設が14～19園になると、通園について困難になるケースが想定される。スクールバスや駐車場は。	そのご意見について突き詰めて考えると、全ての市民が歩いて行けるような身近な場所に保育所を用意しなければならず、それは現実的ではありません。またそうした場合、一園あたりの園児数が少なくなり、適正な集団規模を確保できなくなるという問題が発生します。駐車場は公民問わず、設置します。
121	12/11(土)	八木市民センター	施設費の削減、財政面の効果について。	現有施設を建替え、再編によって6の市立園、8の民間園で整備を図った場合、建設費として約20億円の効果額を見込んでいます。
122	12/11(土)	八木市民センター	幼稚園の少人数化について、市としての努力は。例えば3歳児保育、給食の提供はどのように考えているか。幼稚園で給食が提供されれば、入園希望も増えるのでは。天神山幼稚園・小学校のような幼小一貫校の検討は行ったか。民間園がたくさん出来ることに不安である。	幼稚園での給食の要望につきましては、教育委員会としても把握しているところです。3歳児への給食の提供には、誤食・誤嚥といった点に配慮しなければならないことが多く、対応が難しいと考えています。天神山幼稚園は4・5歳児のみなので、小学校の厨房にて対応可能でした。市立幼稚園は、小学校に隣接した園だけではありません。運搬上の衛生面等の検討事項が多いため、もう暫く時間を頂きたいと考えています。ただ天神山幼稚園の事例を考えた場合、給食導入前・導入後で児童数に大きな変化は見られません。市・教育委員会としては、給食の提供が園児数増につながるという認識はしていません。 市立幼稚園では、平成20年にアフタースクールを開始、27年に預かり時間の拡大、28年に3歳児保育を開始し、29年に3歳児保育を9園で実施してきたところです。子ども・子育て会議において、市立幼稚園の3歳児枠は9園で充足しているとの意見がありましたが、需要があったため令和元年に1園増の計10園に増やしたという状況です。しかしながら、令和4年度の募集では、3歳児保育は抽選無し(希望者が全員入所)でした。これからの需要に対しては、幼稚園ではなく、認定こども園にて対応していこうという考えで、再編に取り組んでまいります。
123	12/11(土)	八木市民センター	現在、八木小学校の前の道は、車1台くらいしか通れない。施設を集約すると交通量が増える。児童のことを考えて、周辺整備も考えて欲しい。	認定こども園の設置場所の選定については、十分検討してまいります。
124	12/11(土)	八木市民センター	民営化すると営利目的になってしまう。障害児・発達段階の児童の対応をすると、職員を加配する必要により、赤字になったりすることもあるのでは。市はどれだけのサポートを行うのか。	市立保育所と民営化園5園で、障害児保育を行っていますが、早期発見・早期療育により、支援対象の児童数も増えてきているのが現状です。外①・外②は再編外の純増となり、民間認定こども園の応募事業者には、募集要項において、市立保育所と同様の障害児の受入れを条件としており、支援を必要とする児童の受入増を期待しています。また令和3年度より、民間園への障害児加配職員の補助金制度を創設しました。今後は、民間園と市立園のノウハウを共有する必要があると考えています。時間はかかるかもしれませんが、民間園でも対応してもらえるよう取り組んでまいります。民間園への支援も市立園の役割です。公民問わず、質の高い就学前教育・保育を受けて頂きたい、岸和田市全体での充実を図ってまいります。
125	12/11(土)	八木市民センター	30代の世代を中心として市外転出が多いと説明があったが、理由を把握しているのか。	担当部局では、教育・子育てに課題があるという分析をされています。教育分野は様々な課題があり、しっかり対応していく必要があります。授業改善や学力向上、家庭との連携も大事だと思います。この点については教育委員会で、引き続き検討してまいります。幼保再編、小中の適正規模・適正配置、新しい時代に求められる人と人との関係性を築く中で、より深い学びを高めていく、そういったことで、岸和田市全体の教育・保育の質を上げ、若い世代の支持を得られるようにしたいと考えています。

通番	日付	場所	当日のご意見及びご質問(要約)	本市の回答(要約)
126	12/11(土)	八木市民センター	少人数学級の方が好ましいと考えるが、その方向に進んでいない。	小規模化の問題というのは、学級編成の少人数化という訳ではなく、学校全体の小規模化が問題だと認識しています。少人数学級について必要性を理解しており、教育長が集まる会議では、30人学級の実現を国や府に要望しているところです。しかし10～20人が良いと言われるとそうではありません。集団での学びやグループで意見交換をしたり、時には対抗したりして、学習していくことが望ましいと考えます。
127	12/11(土)	八木市民センター	学校の先生不足、大阪府では職員待遇が良くないから奈良・京都に行っている、と組合関係者に聞いた。	単純に待遇が悪いから他府県に行くものではないと考えますが、労働組合の方の意見として、お聞きしておきます。
128	12/11(土)	八木市民センター	公立保育園11園全て残して欲しい。	今後は市立認定こども園として市立園の機能・役割をしっかりと果たしていきたい、と考えております。民間園への支援だけでなく、民間でできない点は、責任をもって、セーフティネットとしての役割を担ってまいります。
129	12/11(土)	八木市民センター	小・中学校の説明会は20回あるのに、幼保の説明はなぜ10回なのか。小・中よりも直近で再編を行う予定なのに、なぜもっと説明会をしてくれないのか。	今回の市民説明会で終わりではなく、再編に係る園の地域の方・保護者の方に対する説明会を行っていく予定です。
130	12/11(土)	八木市民センター	再編方針では、施設数が14～19園となっている。幅を持たせているが、様子を見ながら増やすこともあるのか。	再編を進めるにあたり、施設数の増減は今後あり得ます。